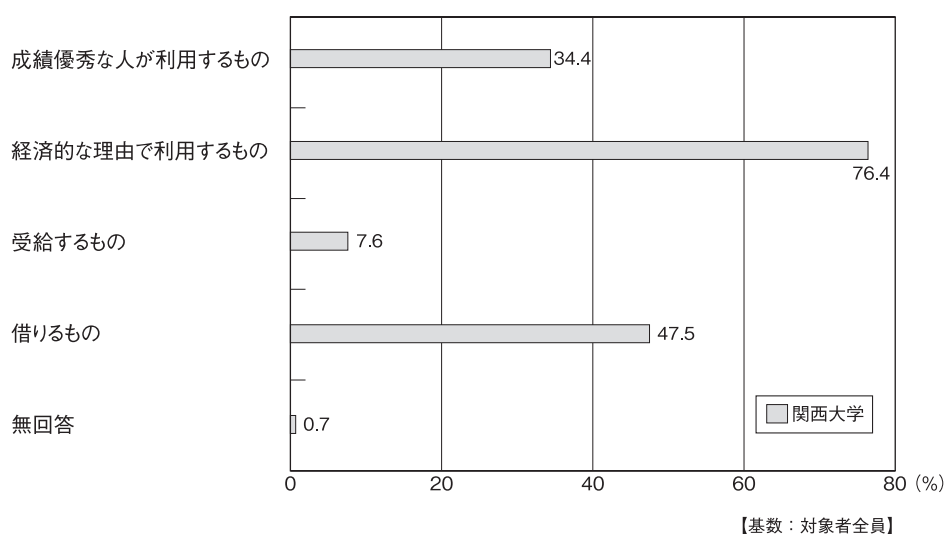


奨学金のイメージ

Q69

奨学金と聞いてあなたが思うイメージは次のうちどれに当てはまりますか。あてはまる番号をすべて選んでください。



奨学金は「経済的な理由で利用する、借りるもの」とのイメージが強い

「経済的な理由で利用するもの」が76.4%となり、「成績優秀な人が利用するもの」の34.4%を大きく上回った。また、「借りるもの」の47.5%が「受給するもの」の7.6%を大きく上回っている。現状で全体の4割近くの学生が利用している日本学生支援機構奨学金のイメージが強いためと思われる。Q21（奨学金制度）で示された「返還の必要のない奨学金の充実」という学生のニーズの割合と本設問での奨学金へのイメージを並べてみた時に、“給付型”奨学金への期待が学生の心情から垣間見えるようである。本学には独自の奨学金として多様な制度があり年間約2,000人の学生が利用している。また、学外団体による奨学金も数多く存在する。学生が先入観にとらわれて利用できる制度の手続きを逸することのないよう、募集案内などを見逃さないようにしてほしい。